

恒例の春のバス旅行、今回は、神代植物公園から立川の国営昭和記念公園と、昭和天皇記念館を巡る旅でした。絶好の行楽日和、大型バス1台、総勢48名の満席でした。季節の花や、広大な記念公園の散策、昭和天皇の事績や記録を、私たちの記憶を甦らせながら、拝見してきました。

《旅行日》 平成30年5月22日（火）



《東京都・調布市の神代植物公園》

参加の ご一行さま。

朝一番、開園と同時に入園したので、込み合うこともなく、ゆっくりと園内を巡りました。西柴団地のバス通りの桜、「神代曙」は、この植物園で開発されたものです。



《神代植物公園のバラ園》

バラ園もかなり広い面積があり、多種類のバラが見事に咲いていました。



2018/05/22

《バラ園を散策する》

園内には、ちょっとした売店もあり、バラの香りのするソフトアイス「バラアイス」が人気でした。なかなか乙な味でした。綺麗なバラの花苗を買い求めた方もありました。



2018/05/22

《園内の温室で》

園内には大きな温室の一角もあり、熱帯植物のほか、多くの種類の植物が見られましたが、中でも、ペゴニアのコーナーでは、普通あまり見かけないような、綺麗で豪華なものが数多くあり、目を楽しませてくれました。



《南立川の日本料理店で昼食です》

今回は、竹籠に綺麗に盛り付けられた「たけくらべ」という懐石料理をいただきました。
テーブルの上にはこの後、煮物、焼き物、寿司、デザートが付きました。
皆さん満足そうな笑顔です。



《国営昭和記念公園》

この公園は、昭和天皇ご在位50年記念事業の一環として、立川市と昭島市の両市にまたがる立川基地跡地のうち、約70ヘクタールを昭和58年に開園したものです。
広大な公園内は、パークトレインという遊覧列車が園内を巡っています。
全部はとても歩ききれないので、乗ってみました。 乗車前の皆さんです。



《園内にある日本庭園の風景》

日本の伝統的な造園技術を生かしながら、四季折々の自然美を表現した、情緒あふれる佇まいを見せる庭園です。本格的な数寄屋造りの「観楓亭（かんふうてい）」を中心とした池泉回遊式庭園です。ゆったりとした庭園の中を、ゆっくりと歩いてみました。



《昭和天皇記念館正面玄関前で》

この記念館は、国営昭和記念公園の「緑の文化ゾーン・花みどり文化センター」の中にあります。「昭和天皇・香淳皇后のご遺品を中心に保存及び展示を行い、そのご生涯のご事績とご遺徳を偲び、皇室と国民の絆をより深く結びつける」ことを目的として設立された記念館です。記念館の学芸員の方から詳しい解説を伺いました。

記念館には、隔月発行の機関紙がある由で、私たちの「この写真」も来訪者の記事として7月号に掲載されるそうです。

（ お わ り ）